大休団地花壇クラブ　様

今回、令和８年度秋の花壇コンクールで最優秀賞を受賞されたことで、令和６年度春の初受賞以降、通算３回の最優秀賞受賞となりました。これにより「山陽小野田市花いっぱい運動モデル花壇」に指定することになりました。大休団地花壇クラブで代表を務められる村上様に「花壇を作るうえで心掛けていること」について、以下のとおり、お話を伺いました。

■過去の最優秀賞受賞花壇



令和６年度春の花壇コンクール



令和８年度春の花壇コンクール



令和８年度秋の花壇コンクール

花壇づくりのきっかけ
教員時代、「環境を整えること」の大切さを学んだことが原点です。退職後、大休団地の入口に元々あった花壇を再整備し、団地全体の環境美化を目指すようになりました。

差別化の戦略
7年前、前任者から受け継いだ花壇を一から作り直し、当初は寄贈された種だけで植栽を始めましたが、なかなか最優秀賞が取れませんでした。そこで、「テーマ性のある独自の花壇」を掲げ他の団体と差別化を図ることにしました。

年間スケジュールと土づくり
前シーズンのコンクールを終えると、花を根こそぎ抜き、細かく裁いた敷藁を土に混ぜて通気性と保水性を高めます。また、もらい受けた鶏糞や馬糞を入れるほか、桜葉を1年熟成させたコンポストを加えて堆肥化し、地域資源を循環させながら肥沃な土を作ります。その後は、土壌を点検し必要なら追肥で養分バランスを整え、次シーズンも花壇が健やかに育つよう管理します。このサイクルを毎年続けることで、花壇の美しさと土壌の健康を長期的に保てます。花壇のテーマは半年前から考えはじめ、テーマに合うような花種や配色を選んで植栽しています。

日々の管理と支援体制
地域に花が好きな人が多くおり、除草は交代で実施し、作業表で誰がいつやるかを共有しています。散水は用水路の水をポンプで汲み上げ、このたびの花壇では朝と夕方の２回に分けて行いました。また、長年の環境整備の想いが自治会に届き、ポンプ購入費や活動費の援助を受けています。

現在抱えている課題と安全配慮
テーマ設定と資材確保は毎回の課題です。適切な花種や装飾品を選ぶのに時間が掛かっています。また、道路に面している花壇では、歩行者や車の視界を遮らないよう背丈の調整をするなど安全面にも配慮しています。

花壇がもたらす地域への効果
団地に住む方以外の通行人からも「きれい」と声を掛けてもらえることがあります。地域の景観向上に直接貢献する以外にも、様々な人と自然に会話が生まれています。また、花壇づくりのボランティア活動を通じて住民同士の交流が増え、自治会との協働が強まることで、地域全体の結びつきが深まっていると感じています。

これから花を育てる方に対して一言
熱意が結果に直結します。手をかけた分だけ花は綺麗に咲くので情熱をもって取り組んでください。まずは小さな一歩から始め、地域の人たちと情報や作業を分かち合いながら、花壇を育ててみてください。誠実に取り組めば、自然と花だけでなく、周りの人とのつながりも自然に広がります。